

「お絵描き・塗替え体験イベント」開催

7月25日・26日の二日間、一般社団法人 日本塗装工業会愛媛県支部青年部主催による「お絵描き・塗替え体験イベント」が開催されました。

今回のイベントは、学校の廊下の壁に自由に絵を描き、その上から白いペンキで塗装するという、ダイナミックでちょっと不思議な体験です。



◆たくさんの親子が参加！

当初は子ども40名・大人40名の予定でしたが、予想を大きく上回る申込みがあり、急きょ定員を拡大。最終的には親子合わせて160名が参加し、賑やかなイベントとなりました。描くエリアも1階の廊下にとどまらず、2階まで広がり、子どもたちの絵がずらりと並びました。

◆プロならではの安心サポート

会場となる廊下は、控室やトイレまで含めてしっかりビニールで養生されており、子どもたちが安心して活動できるよう配慮されていました。さらに、熱中症対策として扇風機やウォーターサーバー、塩飴の用意も。細やかな気配りが随所に感じられました。



◆まずはお絵描き体験！

午前中はお絵描きの時間。説明を聞いたあと、子どもたちは思い思いに壁へ絵を描いていきます。普段は「描いてはいけない」学校の壁に、堂々と絵が描けるというワクワク感に、子どもたちの顔はみんなにっここ♪



◆インタビューより

イベントの開催にあたって、日本塗装工業会 愛媛県支部青年部の会長・矢野さんにお話を伺いました。

「子どもたちが参加するイベントなので、安全面には特に気を配りました。塗料も害のな

いものを使用し、作業場所の養生も万全にしています。このイベントは今回が初めての取り組みですが、たくさんの方が参加してくださって、とてもうれしく思っています。」

矢野さんの穏やかな語り口から、子どもたちの笑顔を何より大切にしていることが伝わってきました。

◆そして…塗替え体験へ！

お昼休憩中に、青年部の皆さんが手際よく準備を進めてくださり、午後は「塗替え」体験がスタート。ローラーを使って、描いた絵の上から真っ白に塗っていきます。

白いペンキで塗っていくことで、壁はすっかりきれいに元通り。でも、その下には、自分たちの描いた絵が確かに隠れています。



◆子どもたちの声

参加した子どもたちからは、こんな声が聞かれました

- ・「コロコロで塗るのが楽しかった！」
- ・「壁の描きごちがなんか不思議だった」
- ・「絵が消えるのはちょっと寂しかったけど、白くなるのも気持ちよかった！」

それぞれに、絵を描くことと塗り直すことの両方をしっかり楽しんでくれた様子が伝わってきます。

◆最後に

日本塗装工業会の皆さんのサポートのおかげで、「落書きしてはいけない場所」で、思いきり描いて、思いきり塗って、でも“自分の絵がそこに隠れている”そんな子どもたちにとって夏の思い出に残る体験となりました。